

いの流水俳壇

松尾 満津於選

「当季雑詠」

走り梅雨遍路背負いの荷を濡らす

大川 節弥

〔評〕「走り梅雨」という季語はないが、「走り」という語感、季節に先だつて、梅雨の発端となる現象をいつたものだろう。「信仰と趣味」、健康を兼ね備えての四国遍路の旅、梅雨季節の空の変化、異常気象を覚悟して、信仰、そして息災と延命、果たしてこの先どんな事態が待っているのだろうか。

折返し棚田に補植若葉光

井上 郁子

〔評〕山腹の傾斜に添って、幅狭く、長々と段々が続いている状態にあるのが棚田である。田植えが手作業で行われた従来型の農業から、機械植えになった今日、植田の隅々までは、矢張り人手で補完するしかない。初夏の陽射しを受けた若い早苗が、柔らかな光を放つ。

老鶯や雨になるよと谷渡り

弘瀬うき子

〔評〕六月も半ば過ぎる頃となれば、鶯も声が澄んでくる。声そのものが周囲に調和して、立ち止まって聞いていても、ア：鶯が鳴いた、と心よく感じとる：何処に居るのだろうか：と詮索してみたくもなる。「雨になるよ」と鳴くと受けとめた作者、梅雨が近くにあることの証。洗濯物は乾いただろうか、他に干し物はないのか、何かと気掛かりな季節ではある。

紫陽花や織りなす色のまだ未完

伊藤 萩甫

〔評〕やや気取りを見せたようにも思える句であるが、作句者側から考えると、なる程そうだったのかと頷かされる。紫陽花は我が儘な花、真昼でも短夜でも、咲くだけ咲いて媚びを売らない花だという。「織りなす色のまだ未完」という意味は何にあるのか解りにくい、七変化といわれている花だけに、一度や二度ではなく後何回目かの変化のあることを、想定しての未完であろう。

草におり灯し直して螢とぶ

間 浩太

万緑や過疎に分けいる販売車

友草 水月

単線の駅員ひとり螢の夜

植田 紀子

安眠の友に掛けやる夏蒲団

刈谷 志津

眠る嬰の臉動くや青葉風

津田 久美

翔つ鳥の影やわらかき森五月

岡本とも子

夏草の呼吸に埋もる無縁塚

竹崎 光子

卯の花や風やわらかき里日和

片岡 包女

十葉を日陰に吊るし恙なし

川村 博子

田を植えて泥にまみれた子等の顔

森岡 照月

五月雨や石庭静かに呼吸する

竹崎たかひろ

柿若葉母さんと呼ぶ声のして

筒井 正子

雑草のすくすく伸びる梅雨晴間

大原 秀子

卯の花や別れ間際の言葉尻

松尾満津於

次 題 「当季雑詠」

締め切り 毎月第2月曜日

投句先

吾北教育事務所 上八川甲2010

☎ 867-2133

入札結果のお知らせ (平成22年4月～6月)

入札日	入札方法	工 事 名	工事場所	工事担当課	落札金額(円)	落 札 業 者
4月28日	一般競争入札	いの町上水道新水源地送水管橋梁添架工事	天神	上下水道課	101,325,000	日東・エイトテック 特定建設工事共同企業体
5月21日	指名競争入札	いの町上水道新水源地送水管布設工事(1工区)	小鎌田	上下水道課	11,602,500	有限会社伊藤水道
5月25日	指名競争入札	いの町上水道新水源地送水管布設工事(2工区)	小鎌田	上下水道課	31,269,000	笠井水道工務所
5月25日	指名競争入札	いの町上水道新水源地取水ポンプ設置工事	小鎌田	上下水道課	39,900,000	株式会社日東水道
6月17日	指名競争入札	いの町上水道新水源地中央監視装置電気計装工事	小鎌田・音竹	上下水道課	20,475,000	有限会社田村電気
6月23日	指名競争入札	林道中野川長又線1工区舗装工事	中野川	本川総合支所 産業建設課	41,580,000	有限会社森下工業